

石崎 高志さん（深浦会東京顧問、医学博士、岡町出身）

社会保障が充実している北欧には、その財源確保のため消費税率20%以上の国もある。大学卒業までの費用や高齢者福祉もすべて国が負担している。日本も消費増税の議論が始まりつつあるが、将来の少子高齢化の進行を見据えて真剣に考えていかなければならない。また、社会福祉を充実させ、雇用を創出すれば経済の循環にもつながるのではないか。

最近、農業に従事する若者が増えてきた。日本の食料自給率が低いなか、農業がいかに大事かということが認識されつつある。深浦町でも一次産業振興への取り組みは重要で、若い世代にもしっかり伝えていくべきだと思う。



佐藤 登さん（深浦会東京顧問、初代会長、浜町出身）

尊敬する人が身近な地域から輩出され、その功績などを子どもの時に知ることは、本人に独創性が芽生え、生きるための大きな力になるような気がする。子ども達に深浦町の歴史を伝えることは、発想力を育むことにつながる。

近隣市町村の中学生や高校生によるディベートを企画してはどうか。若い時期に自分が発想したことに責任を持ち、夢を抱くことはとても意義深いことだと思う。



奈良岡 紘子さん（ふかうら大使、国際スローピング協会副代表、旧姓石崎、岡町出身）

ふかうら大使として自分にできることをずっと考えてきました。本年8月に町村合併5周年記念事業で私の取り組みを町民の方々にお伝えする機会を作っていただいたこと、とてもうれしく思います。少子高齢化が進行している中、世界自然遺産白神山地と美しい夕陽に包まれている深浦町の高齢者が元気であるということは、すごく大事なことだと思っています。介護に至る前の人たちをもっと元気にしなければならぬと思い、スローピングの普及に取り組んでいます。

（※8月22日13時から、役場文化ホールにおいて奈良岡紘子さんの「健康講話」が開催されます）

吉田町長

子ども達の教育、官民連携した人材育成、高齢者福祉、一次産業の振興など、多岐にわたるご意見・ご提言をいただきましたこと、心からお礼申し上げます。ふるさとを離れ、首都圏でご活躍されているみなさんの、様々な経験に裏打ちされた貴重なご指摘であると受け止めさせていただきました。本日のグループミーティングで気持ちが活性化されました。みなさんのご指摘を、今後の町づくりに生かしてまいりたいと思います。

本日は誠にありがとうございました。



町づくりグループミーティング募集中!!

「町長とこんなことを話したい!」「町が取り組んでいることは?」など、普段なら言いづらいこと・聞きづらいことも、気心の知れた仲間との懇談の場でなら、何でも気さくに、活発な意見交換ができると思います。「うちに来て町づくりグループミーティングを開催してほしい!」という方は、ぜひお申し込みください。

【お問合せ・お申し込み】深浦町企画財政課 町づくり戦略室 TEL74-2111

ふるさととは心の道しるべ

町づくりグループミーティング

in 深浦会東京

町長との直接対話を通して、「よりよい町づくりのため」の意見交換を行う「町づくりグループミーティング」が6月20日、品川区立総合区民会館「きゅりあん」を会場に行われました。

今回参加いただいたのは、深浦会東京会員のみなさん。ふるさと深浦町を離れ、首都圏でご活躍されている方々に、故郷への思いを語っていただきました。



◆開催日時 平成22年6月20日（日）午前10時～午前11時30分

◆開催場所 品川区立総合区民会館「きゅりあん」

◆参加者 〈深浦会東京・ふかうら大使〉小野秋夫さん、黒滝進さん、石崎高志さん、佐藤登さん、奈良岡紘子さん
〈町側〉吉田町長、石沢議会議長、佐藤企画財政課長



小野 秋夫さん（深浦会東京会長、田野沢出身）

私たちが都会に就職したのは「金の卵」と持てはやされた時代。それと比較して現代は都会ですら大学を卒業しても就職難なのだから、ふるさとはもっと厳しいだろうと心配している。

長らく教育に関する仕事に携わって感じてくることは、現代の子ども達が自然との関わりが少ないこと、そして、群れ遊ぶ体験が少なくなっていること。特に「群れ遊ぶ」経験は、上下関係やルールなどといった社会性が自然と身に付くことにつながる。地元の田野沢地区に小学校がなく、風合瀬小学校も統合されたと聞いている。通学にはスクールバスが使われ、子ども達同士の関わりが薄くなっているのではないかと。社会性を身につけるための具体的な取り組みが必要なのではないか。

黒滝 進さん（深浦会東京顧問、東京青森県人会副会長、浜町出身）

地方自治体、とりわけ市町村行政に求められているのは「人づくり」だと考えている。深浦町の強みである農林水産業や観光産業を担うセクションに、優秀な人材を配置し、さらに農業や漁業、観光に携わる民間人の人材育成に取り組むことが重要だ。豊かな地域、充実した地域を創造するのは人の力なのだから。

全国的にも一次産業の衰退は著しい。そんな中で深浦町は、冬期間の降雪に影響を受けないような作物を奨励し、一次産業全体の底上げを図っていくべきではないか。

